

番号	109	昭和２８年筑後川大洪水時の浸水深の表示		
所在地		上峰町前牟田４２９－１　前牟田学習等併用施設入口壁面		
災害別		昭和２８年（１９５３）　水害（２８水）		
目的別		その他	建立年	不　明
特記事項				



筑後川本流からは、直線で約4キロほど離れた上峰町前牟田の前牟田学習等併用施設に昭和28年(1953)筑後川大洪水時の浸水深が表示されている。高さは敷地面からは約80センチ、道路面からは1メートル程度あり、昭和28年規模の水害では建物の床上まで浸水することを示している。このため、この施設は指定避難所になっているが、水害時の避難所には指定されていない。

「上峰村史」(昭和54年3月 上峰村発行)によれば、昭和28年6月25日夜半からの豪雨により、27日朝には、切通川の堤防が決壊したほか、「筑後川堤防南茂安村塩入集落北方並びに北茂安干栗、東大島相前後して決壊し、濁流は一気に両村を呑み遂に上峰村南部は瞬時にして床上を洗い避難に追われた区民は殆んど家財道具、米麦その他農作物水びたしとなり被害は甚大、各集落との連絡は完全に不通となり、各人階上に逃れ救いを求む。」という状況であった。被害状況は、罹災者3,779人、家屋の全壊1棟、半壊31棟、床上浸水120棟、床下浸水210棟などとなっており、被害総額は、当時の金額で1億672万円余にのぼった。



にして床上を洗い避難に追われた区民は殆んど家財道具、米麦その他農作物水びたしとなり被害は甚大、各集落との連絡は完全に不通となり、各人階上に逃れ救いを求む。」という状況であった。被害状況は、罹災者3,779人、家屋の全壊1棟、半壊31棟、床上浸水120棟、床下浸水210棟などとなっており、被害総額は、当時の金額で1億672万円余にのぼった。

令和3年(2021)に更新された「上峰町防災マップ」では、この施設がある前牟田地

区を含め、みやき町と接する町の南部は、3メートル以上5メートル未満の浸水深表示となっている。この避難所の標高は2.8メートルとなっており、最悪水没する恐れがあるため水害時対応の避難所には指定されていない。



国土地理院電子国土 Web